

政権交代、動物園、 保育サービス向上

高橋ブラクソン久美子議員
(無所属)



佐渡市の
トキのシンボルマーク

◆政権交代での狭山市の対応と影響

政権交代による民主党マニフェストによる狭山市の施策への影響はいかがですか。現在行っている事業や来年度予算編成上の影響はいかがですか。

市長

8月31日に各部課に検討を指示したが、詳細が不明確で影響を具体的に把握することは現状では難しい。

◆施設更新・改修計画

現在までの検討内容はどうなですか。この計画は後期振興計画にどのように関係しますか。

◆総合政策部長

振興計画で検討したが、既存の公共施設の存続を前提に改修計画を策定している。後期計画には、耐震改修を主に既存施設の将来のあり方を検討する中で、建て替え、統合、廃止などを踏まえ更新計画をまとめたい。

◆智光山公園こども動物園

①智光山公園こども動物園は20周年を迎え老朽化してきていますが、行動展示ができるような施設への改修をどう考えていますか。学習スペースが狭く、雨宿りできる施設もありませんが、新設の予定はいかがですか。②新たな動物の導入としてトキを飼育してはど

うですか。③動物園ボランティアや「友の会」、えさ代などの寄付を募るためにスポンサーを集めてはどうですか。

◆建設部長

①子ども達の情操教育の点からも改修計画を検討したい。②先例動物園の協力で市の飼育者の飼育能力が向上することになれば、調査研究したい。③指定管理者から市民参加の運営をしたいと提案があり、必要に応じ指導していく。スポンサーシップは自主事業として協議したい。

◆保育所での保育サービス向上

①狭山市の待機児対策はどうなっていますか。待機児対策として、市立幼稚園を認定こども園に移行したらいいですか。②保育所の土曜日の保育時間を午後6時まで延長してください。日曜日や祝日の保育、病児・病後児保育をしてください。

◆福祉部長

①9月1日現在の待機児童は104人。解消を目指し、整備を進める。②時間延長は近隣市の状況や関係機関と調整を図り協議したい。保育施設の建て替えの際や民間保育園の協力も得て、開設に向けて検討したい。

◆学校教育部長

①現状を踏まえ、今後設置する研究組織の中で検討したい。

一 質 問

介護・狭山市駅駐輪場料金

中川 浩 議員
(市民 21)

◆食べ物を飲み込む力が弱い「えん下障害」など「受け入れ困難」と言われる要介護者への対応策は。

ショートステイやデイサービスで断られたり、十分な対応がされなかったりしている介護施設の現状は、介護・福祉制度の欠陥。介護の悩みや苦情がどうすれば市に届き、対策が取られるようになるのか。

◆保健担当部長

制度の中で利用者を適切な事業者につなげるため、事業者間の連携や情報収集などの支援に努める。これまでも介護保険課が相談や苦情に対応してきたことを市民に周知する。◆「行ってもいない事がよくある」と市民から言われる包括支援センターの受付体制の現状と対策は。

◆保健担当部長

居宅介護支援事業所を併設していない3カ所で不在の場合がある。留守番電話や連絡票など対応を働きかけていく。

◆狭山台団地の高齢化の中で、狭山台北小学校廃校後の活用策は(地域の運営によるレストラン・地域農業・地域拠点として)。

◆総合政策部長

狭山台北小学校の跡利

用は、方針案を作成し、校舎の一部を地域利用スペースとして活用する。活用方法は、今後地元と協議していく。

◆狭山市駅西口に無料駐輪場を残すべきでは

西口開発で余っている市有地に存続すべきでは。市民が不況で大変な事は市には関係ないのか。市民の意見をなぜ聞かないのか。昨年10月の広報で、西口駐輪場が「有料」になる事や「無料駐輪場がなくなる」とはどこにも書いてない。「市民の意見を募集した」市民の一定の理解を頂いた」と言う事実と違う市の答弁は撤回して頂きたい。

◆市長

臨時自転車駐車場は、西口の代替用地などを予定し、来年4月の狭山市駅西口第1自転車駐車場の供用開始に伴い、廃止することとしている。

◆市民部長

不況対策は国・県の補助事業を活用し、離職者の雇用確保が先決である。自転車駐車場の有料化は、昨年10月に計画案を公表し、パブリックコメントで意見を募集し決定している。

◆狭山市駅西・東口はなぜ都内より高い駐輪場料金にするのか。

◆市民部長

近隣市の施設の立地、供用時期、再開発事業などで設置された料金体系を参考に設定した。



西口に無料駐輪場を

赤ちゃんの駅事業の導入について

齋藤 誠 議員
(公明党)

昨今、少子化や核家族の進行、地域社会の変化など、子育てをめぐる環境が大きく変化し、親の孤独感や不安感の増大などの問題が生じている。そこで子育て家庭の孤立化を防ぎ、親子どもと一緒に安心して外出ができることを目的に、気軽に立ち寄れる「赤ちゃんの駅」が各地で展開されている。これは、公共施設などの一部を活用して、授乳やおむつ交換の場所を提供するという、予算がかからず、地域ぐるみで子育て世代を支える取り組みとして注目を集めている。

- 乳幼児を連れた保護者が外出時に感じている不便さを解消する「赤ちゃんの駅」は、新時代のバリアフリー事業とも言える。そして、予算をかけず、既存の施設を有効活用して環境を整備する工夫は、今後も種々の施策に応用できるものと考えられる。そこで、以下のことをお尋ねする。
- ①保育所・幼稚園などの子育て施設に「赤ちゃんの駅」を設置してはどうか。
- ②市役所地下1階の授乳室の利用状況と利用者の反響はどうか。
- ③子育て施設以外の公共施設にも「赤

ちゃんの駅」を計画的に設置してはどうか。

④さらに、大型店舗などの民間施設にも積極的に設置を働きかけていただきたいがどうか。

市長 ①地域全体が協力して、安心して子育てができる町を作るという機運を高め、イメージアップにつながるものと考え、統一したステッカーなどを提示し、子育て施設で実施したい。

福祉部長 ①設置時期は、実施方法を検討のうえ、ポスターなどの表示、利用者への周知などの準備が整い次第、実施したい。

②授乳室は、週2回程度の利用があるが、「場所が分かりにくい」、「専用スペースがほしい」などの意見がある。案内を分かりやすく改善して設置場所の工夫をしたい。

③施設の状況を確認して、関係部課と協議したい。

④子育てする親子の身近な地域で確保することや地域全体で子育て支援を行う意味でも、民間事業者の協力が必要と考えている。



一般質問

農地法改正に伴う農業政策

磯野 和 夫 議員
(公明党)

農地所有者の高齢化や後継者減少の深刻化などにより、耕作放棄地が増大し続ける中、新たな農業者の参入に道を開き、農地の減少に歯止めをかけるため、本年6月に農地法が大幅に改正された。食糧自給率の低下が指摘される今日、農業の復興を考え、取り組んでいくべき時を迎えていると考える。

◆市内農業の現状

①耕作放棄地の現状はどうか。②農業の「担い手不足」の現状はどうか。**農業委員会会長** ①今年度は13万4千936㎡、所有者に文書指導した。

市民部長 ②農業者の高齢化と後継者不足が要因と考える。担い手としての認定農業者は130人である。

◆改正農地法による市の取り組み

- ①農地法の改正を受け、市の今後の取り組みはどうか。
- ②農地が「借りやすく、貸しやすく」なることだが、市の現状からどうなるかと考えられるか。
- ③若者の就農の機会創出のための方策をどう考えるか。
- ④農地利用集積円滑化事業について市の取り組みはどうか。
- ⑤農業委員会の

体制強化についてどう考えるか。

農業委員会会長 ①企業の参入が可能になり、家族農業とは違う農業経営が展開されることになる。法改正の実施に伴う政省令の整備を待ち対応したい。

②農地の権利移動の申請が増える。

④昨年度は33件、6万3千130㎡であった。点在する農地を面的にまとめることで、農作業も効率的になり生産性の向上も図れるため、制度のPRに努めたい。

⑤研修を通して、「農業を守り、育成、支援すること」を認識して、適正かつ厳格な運用に努めていく。

市民部長 ③後継者確保の点から新規就農者対策を行っている。昨年度は先進地視察や情報交換などを実施して、新規就農者8名を確保した。今後受入れを促進していく。

◆環境保全の観点

環境保全の観点から、今後の取り組みについてどのように考えるか。

市民部長 消費者や市民に農業や農作物の理解を得ることで、農地や水路、平地林などの農業を取り巻く資源についても理解を深めていくことが必要である。

